

TAG
dansei gasshoda n

男声合唱団TAG × 合唱団わくおん

わくおん
Gasshoda n

TAGわくおん コンサート 2026 Story

WEST SIDE STORY

編曲 / 宮崎 誠二

Maria / America / Tonight / I Feel Pretty / ...

男声合唱とピアノのための「新しい歌」 作曲 / 信長 貴富

新しい歌 / うたを うたう とき / きみ歌えよ / ...

Morten Lauridsenの作品から

Dirait-on / O Magnum Mysterium / ...

指揮 宮崎 誠二 / 瀧井 翔一

ソプラノ 高橋 維

テノール 山本 耕平

エレクトーン 菊地 友夏

ピアノ 大滝 俊 / 板垣 紗織

2026 **9/13** 日 14:00開演
(13:30開場)

第一生命ホール
(晴海トリトンスクエア内)

Ticket 2,500円(全席自由)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

「teket」にてチケットを取り扱っております。

URL >> <https://teket.jp/7020/68479>

■お問い合わせ / **Tel. 090-7717-8631** (桑元)



ACCESS 都営地下鉄大江戸線
「勝どき駅」A2a出口 徒歩8分

【後援】JCD 一般社団法人 日本合唱指揮者協会

// ご挨拶 //

2026年は、私たちにとって、男声合唱団TAGが第一回の単独演奏会を開催してより30年、合唱団わくおんが結成されてより10年のアニバーサリー・イヤーです。コロナ禍を経て長きにわたり、両団の歩みが途切れることなく続いてきたことに胸をなでおろしつつ、記念演奏会として、ミュージカルの傑作『ウェストサイドストーリー』にて歌われた作品を、合唱オムニバス形式でお送りしたいと思います。

ウェストサイドストーリーの上演に当たり、マリア役に高橋維さん、トニー役に山本耕平さんのお二人をお招きしました。お二人は日本を代表するソプラノ、テノールであるとともに、オペラやコンサートでも共演を重ねており、息のあったアンサンブルには定評があります。今回のマリア役・トニー役をお願いするに当たって、最もふさわしいキャスティングができたと考えています。そして、オーケストレーションには2016年のTAGわくおんコンサートでもお願いしたエレクトーン奏者の菊地友夏さんに10年ぶりにご登場いただきます。

また、TAG・わくおんそれぞれの単独ステージでは、毎回の練習を支えて頂いている、ピアニストの板垣紗織さん、大滝俊さんに今回もご登場いただき、信長貴富の『新しい歌』、アメリカの作曲家モートン・ローリゼンの作品をお届けします。みなさんにお楽しみ頂けるよう、メンバー全員で思い切り歌いたいと思います。



指揮・編曲 宮崎 誠二 (みやざき せいじ)

長崎県の五島列島に生まれる。九州大学経済学部卒業。福岡県立福岡高校にて合唱に出会い、九州大学にて男声合唱団に所属。同大学出身の指揮者荒谷俊治氏、作曲家藤井凡大氏より指導を受ける。

卒業後上京し、「男声合唱団TAG」を指揮。1996年のファミリーコンサートを皮切りに、隔年のコンサートを軸にして活動するとともに、指揮の傍ら作曲・編曲を手掛け、多くの合唱作品を上演している。

2016年に「合唱団わくおん」を結成。男声合唱団TAGとともに、これまで3回の「TAGわくおんコンサート」を指揮した。

東京コールフェライン常任指揮者。日本合唱指揮者協会会員。

ソプラノ 高橋 維 (たかはし ゆい)

東京学芸大学大学院及び東京藝術大学大学院修了。第27回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。

五島記念文化財団(現・東急文化財団)、明治安田クオリティオブライフ文化財団、ルームミュージックファンデーションの助成によりウィーンで研鑽を積む。

『魔笛』夜の女王、『フィガロの結婚』スザンナ、『ランメルモールのルチア』タイトルロール、『こもり』アデーレ、『ナクソス島のアリアドネ』ツェルビネッタ等、様々なオペラに出演。コンサートソリストとしても国内外のオーケストラと多数共演しており、NHK「ニューイヤーオペラコンサート」「クラシックTV」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等のメディアにも登場し注目を集めている。二期会会員。



テノール 山本 耕平 (やまもと こうへい)

東京藝術大学大学院修了。ミラノ・ヴェルディ音楽院修了。イタリア声楽コンクール第1位、日伊声楽コンクール第1位、エネルギー音楽賞等を得て渡伊。五島記念文化賞オペラ新人賞、文化庁新進芸術家海外研修制度等の支援を受けイタリア研修を重ねる。

『ドン・カルロ』『リゴレット』『ラ・ボエーム』『椿姫』等イタリアオペラに主演する他、『後宮からの逃走』『ファウストの劫罰』『金閣寺』『午後の曳航』『ルル』『アニー・姫』『ヤマトタケル』『景虎』など新作や近現代作品を含む幅広い演目に主演。2025年は現代音楽リサイタルシリーズ「B→C」に出演。

第1回鳥取文化奨励賞。東京二期会会員。洗足学園音楽大学講師。

エレクトーン 菊地 友夏 (きくち ゆか)

東京都出身。都立小石川高校を卒業、国立音楽大学電子オルガン専攻を首席で卒業と同時に武岡賞受賞。

同年の大学卒業演奏会、新人演奏会に出演。クラシック音楽を軸にミュージカル・オペラ・演劇など舞台音楽において編曲・生演奏を担当。

また、2013年からはコンテンポラリーバレエの分野で小林洋孝(東京シティ・バレエ団)とのコラボ企画公演、2018年にはダンサー・俳優の藤浦功一氏をゲストに招き、主催公演を成功させ、演奏にとどまらずコンサートプロデュースも手がける。作曲家である妹崎夏とのプロジェクトや、俳優・歌手の今井学とのユニット「きくちいまい」でも活動中。



男声合唱団TAG

関東在住の九州大学男声合唱団コールアカデミーOB有志により活動を開始。1996年に初めての単独コンサートを開催してより、2年に1度単独演奏会を続け、2018年より合唱団わくおんとのジョイントコンサートが活動の中心となっています。構成年齢は、30代～80代と幅広く、コンサートではバラエティーに富んだユニークな作品を多く取り上げています。

合唱団わくおん

男声合唱団TAGの20周年記念コンサートにて、TAGメンバーと一緒に歌う混声合唱団設立の呼びかけに応じた約20名の女性とともに2016年に結成された合唱団。TAGわくおんコンサート2018にて、小林秀雄の『優しき歌』をお披露目してデビューいたしました。月に一度の練習を重ねて、着実に歩みを進めています。

